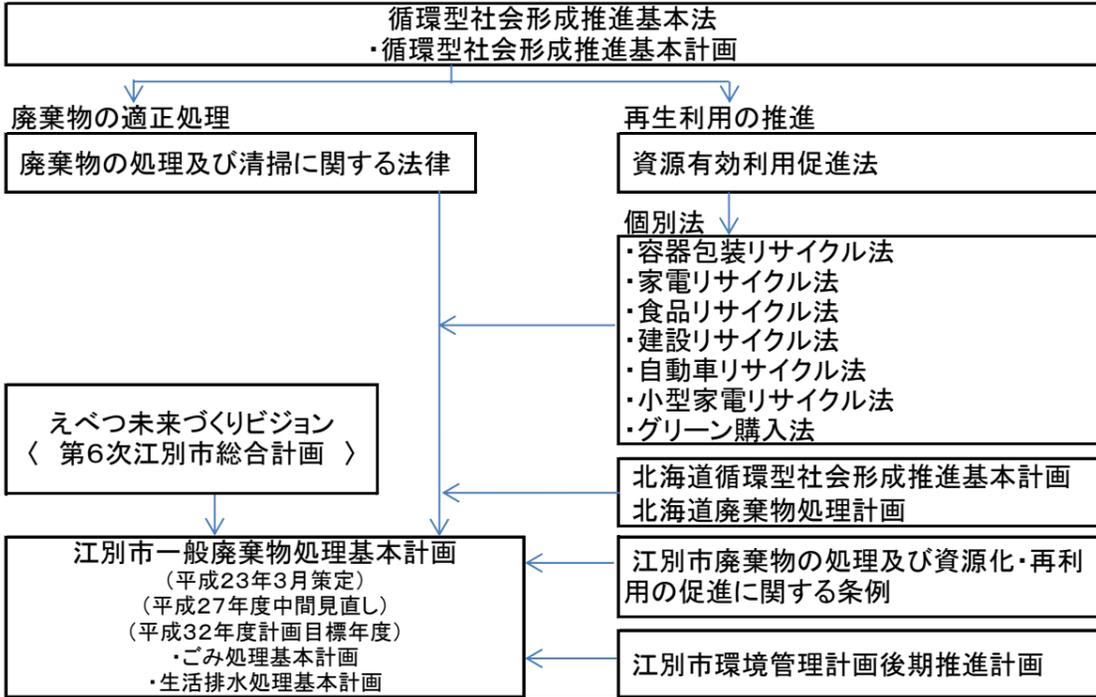


江別市一般廃棄物処理基本計画中間見直しフレーム

1 計画の位置づけ

本計画は、一般廃棄物の処理を長期的・総合的な視点に立って計画的に推進するもので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定するものです。
また、策定にあたっては、循環型社会形成推進基本法等の関係法令のほか、えべつ未来づくりビジョン(第6次江別市総合計画)との整合を図っています。



2 現行計画における基本目標と基本方針

- (1)基本目標
市民・事業者・行政の協働による循環型社会の形成
- (2)基本方針
- 基本方針1 3Rの推進
 - 基本方針2 適正なごみ処理の確保
 - 基本方針3 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築
 - 基本方針4 経済的・効率的なごみ処理の推進

3 現行計画における基本方針に基づく施策

- 3Rの推進**
- ①発生・排出抑制の啓発支援
 - ②広報機能の充実
 - ③環境教育(学習)の推進
 - ④市民団体等との協働
 - ⑤生ごみ減量化の推進
 - ⑥リサイクルバンクの運営
 - ⑦リユース活動の情報提供
 - ⑧事業系食品残渣再利用の調査研究
 - ⑨集団資源回収の推進
 - ⑩資源物収集の品目拡大の検討
 - ⑪事業者の自主回収ルートの活用
 - ⑫植物性廃食用油の拠点回収の情報提供
 - ⑬布類の拠点回収の拡充
 - ⑭使用済小型家電の回収
 - ⑮グリーン購入の推進
- 市民の視点に立ったごみ処理システムの構築**
- ①大型ごみ収集区分の新設
 - ②指定ごみ袋の統合と新設
 - ③ごみ処理手数料の減免拡大
 - ④ごみ出し困難者に対する収集方法の検討
 - ⑤燃やせるごみの早期収集
- 経済的・効率的なごみ処理の推進**
- ①施設の維持管理の推進
 - ②収集運搬業務の一括委託
 - ③資源物・危険ごみの同日収集
 - ④燃やせないごみの収集回数の見直し
 - ⑤ごみ処理業務の委託拡大
 - ⑥環境クリーンセンター処理手数料の検討
 - ⑦リサイクルバンク利用者負担の検討
 - ⑧広報紙等への有料広告掲載の募集
 - ⑨新しいコスト計算手法の導入研究
- 適正なごみ処理の確保**
- ①安心・安全なごみ処理体制の確保
 - ②民間処分業者の活用
 - ③在宅医療廃棄物の適正処理
 - ④地域生活環境の保全
 - ⑤事業系ごみの適正処理

4 計画の目標値と実績値

排出抑制の目標値と実績値

区分	平成21年度 (基準年度)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (中間目標年度)			平成32年度 (目標年度)	
							目標値	平成26年度比較			
								増減	増減率		
総量	排出量	41,837t	42,419t	42,256t	42,089t	42,977t	41,575t	40,000t	1,575t	3.8%	38,360t
	家庭系ごみ	31,770t	32,140t	32,126t	31,627t	32,183t	31,159t	30,430t	729t	2.3%	29,300t
	家庭系廃棄ごみ	22,508t	23,004t	23,048t	22,745t	23,138t	22,410t	20,880t	1,530t	6.8%	19,590t
	集団資源回収等	9,262t	9,136t	9,078t	8,882t	9,045t	8,749t	9,550t	-801t	-9.2%	9,710t
	事業系ごみ	10,067t	10,279t	10,130t	10,462t	10,794t	10,416t	9,570t	846t	8.1%	9,060t
1人1日当たり	排出量	939g	956g	955g	954g	980g	952g	920g	32g	3.4%	910g
	家庭系ごみ	713g	724g	726g	717g	734g	714g	700g	14g	1.9%	695g
	家庭系廃棄ごみ	505g	518g	521g	516g	527g	513g	480g	33g	6.5%	465g
	集団資源回収等	208g	206g	205g	201g	206g	200g	220g	-20g	-9.8%	230g
	事業系ごみ	226g	232g	229g	237g	246g	239g	220g	19g	7.8%	215g

資源化の目標値と実績値

区分	平成21年度 (基準年度)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (中間目標年度)			平成32年度 (目標年度)
							目標値	平成26年度比較		
								増減	増減率	
資源化量	12,281t	11,058t	11,343t	11,774t	10,569t	11,616t	12,450t	-834t	-7.2%	12,510t
リサイクル率(資源化率)	29.4%	26.1%	26.8%	28.0%	24.6%	27.9%	31.0%	-3.1%	-11.1%	33%

最終処分目標値と実績値

区分	平成21年度 (基準年度)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (中間目標年度)			平成32年度 (目標年度)
							目標値	平成26年度比較		
								増減	増減率	
埋立容量(単年度)	3,193㎡	4,762㎡	4,847㎡	3,790㎡	3,215㎡	4,087㎡	3,387㎡	700㎡	17.1%	3,571㎡
埋立容量(累計)	27,395㎡	32,157㎡	37,004㎡	40,794㎡	44,009㎡	48,096㎡	47,211㎡	885㎡	1.8%	64,697㎡
残余容量	50,605㎡	45,843㎡	40,996㎡	37,206㎡	33,991㎡	29,904㎡	30,789㎡	-885㎡	-3.0%	13,303㎡

※中間目標年度及び目標年度の残余容量は供用期間を当初計画の15年から5年以上延長させた場合の推計値です。

5 社会情勢と課題

社会情勢は、少子高齢化に伴う人口の減少や大都市圏への人口集中などの人口構成の変化、ライフスタイルの多様化に伴う商品やサービスの充実、経済対策による景気回復及び社会保障の安定化に向けた消費増税による経済的変化のほか、東日本大震災以降のエネルギーを取り巻く変化の中、ごみ処理においても自然と調和する循環型社会の形成と低炭素社会の推進が求められています。
こうした社会情勢の中、本市も循環型社会の形成に向け現計画を策定し、ごみの減量化・資源化に取り組みましたが、ごみ排出量は家庭系・事業系ともに平成24年度まで横ばい傾向が続き、平成25年度は消費税増税前の駆け込み需要に伴い大きく増加するなど、経済の影響を大きく受けたこともあり、中間目標値に達成しない状況となったことから、目標達成に向け計画の見直しが必要となりました。

6 江別市一般廃棄物処理基本計画中間見直しの基本的な方向性と重点的に取り組む事項

【基本的な方向性】
目標年度(平成32年度)の各目標値の達成に向け、上位計画である第6次江別市総合計画や国及び北海道の廃棄物処理に係る計画と整合を図り、基本方針に基づく新たな施策を策定して重点的に取り組む必要があります。

【重点的に取り組む事項】

- ごみ排出抑制を促すための具体的な施策の展開と分別の徹底
- 民間事業者と連携した資源化
- ごみ処理における市民サービスの充実
- 経済的・効率的なごみ処理の継続に向け、適正なごみ処理施設の維持管理